

# 山梨県強靱化アクションプラン2015の概要

## 【第1章】山梨県強靱化アクションプランの位置付けと構成

### 山梨県強靱化アクションプランの位置付け

- ・ 山梨県強靱化計画の着実な推進を図るため、推進計画、計画推進のための施策を明らかにした「山梨県強靱化アクションプラン」(以下「アクションプラン」という。)を策定
- ・ 毎年度、施策の進捗状況を評価することによって、アクションプランを見直し
- ・ 施策の進捗を定量的に把握するため、可能な限り重要業績指標を設定

### アクションプランの構成

- ・ 最悪の事態ごとの推進計画
- ・ 計画推進のための施策

## 【第2章】最悪の事態ごとの推進計画

### 特に回避すべき最悪の事態に係る推進計画

特に回避すべき15の最悪の事態に係る対策をリスク(大規模自然災害)ごとに整理

対象となる大規模自然災害	対策名	推進計画の例	重要業績指標(KPI)の例	対象となる大規模自然災害	対策名	推進計画の例	重要業績指標(KPI)の例
地震	耐震化等の対策	・学校、住宅、病院等建築物の耐震化 ・住民参加型防災訓練の実施	・住宅の耐震化率: 82.7%(H26) 88.8%(H31) ・私立学校の耐震化率: 85.7%(H26) 95%(H32)	すべての災害に関連する事項	情報収集・発信体制の強化	・総合的な防災情報システムの整備 ・Free Wi-Fiスポットの整備	・Free Wi-Fiスポット整備箇所数: 1,818箇所(H26) 2,500箇所(H30)
	土砂災害等による陸の孤島化対策	・砂防施設・治山施設の整備、長寿命化対策 ・道の駅等の防災機能拡充	・砂防関係施設の対策箇所数: 16箇所(H26) 40箇所(H31) ・機能強化された「道の駅」数: 6箇所(H26) 19箇所(H31)		救助・救急活動体制、医療・救護活動体制の充実強化	・DMAT機能の強化 ・ドクターヘリ離着陸場の整備	・ランデブーポイント整備箇所数: 174箇所(H26) 190箇所(H31)
富士山火山噴火	富士山火山噴火対策	・噴火予測手法の確立 ・五合目以上の観光客避難対策	・観光・防災情報提供アプリケーションの整備・構築完了(H27)		県庁等行政機関の維持	・防災体制の検証・見直し ・県庁舎等の耐震化	・県庁舎等の耐震化率: 89.1%(H26) 100%(H27)
	富士山火山噴火	・噴火予測手法の確立 ・五合目以上の観光客避難対策	・観光・防災情報提供アプリケーションの整備・構築完了(H27)		食料の安定供給	・耕作放棄地対策、農地(生産基盤)整備	・耕作放棄地解消面積: 累計1,411ha(H26) 180ha/年
豪雨・豪雪	水害対策	・河川整備 ・避難勧告指示マニュアル策定支援	・河川整備率: 50.6%(H26) 58.7%(H31)		自立・分散型エネルギーシステムの導入等	・スマート工業団地の整備 ・小水力発電の推進	・小水力発電施設整備数: 0地点(H26) 6地点(H31)
	土砂災害等による陸の孤島化対策	・県道路除排雪計画の推進	・砂防関係施設の対策箇所数: 16箇所(H26) 40箇所(H31) ・機能強化された「道の駅」数: 6箇所(H26) 19箇所(H31)		地域交通ネットワークの維持	・高速道路、幹線道路等の整備 ・橋梁・トンネルの耐震化・長寿命化	・橋梁の耐震化率: 78.3%(H26) 100%(H31)
	土砂災害等による陸の孤島化対策	・県道路除排雪計画の推進	・砂防関係施設の対策箇所数: 16箇所(H26) 40箇所(H31) ・機能強化された「道の駅」数: 6箇所(H26) 19箇所(H31)		防災教育・普及啓発の実施	・地域人材育成、学校における防災教育 ・各ハザードマップの周知	・地域防災リーダー養成講座受講者数: 累計3,206人(H26) 150人/年
					老朽化対策の推進	・公共施設等総合管理計画の策定 ・公共施設等の老朽化対策推進	

### その他の最悪の事態に係る推進計画

特に回避すべき15の最悪の事態以外の最悪の事態に係る施策を整理

## 【第3章】計画推進のための施策

- ・ 最悪の事態を回避するための施策を部局ごとに整理
- ・ 各施策の詳細は別冊施策表に整理